

知的資産経営報告書 2022年版

その物流、もっと便利に。もっと効率よく。



株式会社ロジスト

目次

I. ごあいさつ	2
II. 当社の紹介	3
(1) 経営理念	3
(2) 事業概要	4
(3) 沿革	6
III. 知的資産	7
(1) 当社の知的資産	7
(2) 現在価値創造ストーリー	13
IV. 経営環境	14
V. 将来ビジョン	15
(1) 将来へ向けた取り組み	15
(2) 具体的な取り組み内容	16
(3) アクションプラン	18
(4) 将来価値創造ストーリー	19
VI. 企業概要	20
(1) 企業概要	20
(2) 知的資産経営報告書について	21

I. ごあいさつ

代表あいさつ

当社は神戸市において港湾物流事業（倉庫保管および輸送）を営んでおります。

2015年9月に神戸の摩耶埠頭で創業してから、7年が経過しました。

3PL事業・運送事業の開始、摩耶埠頭の本社倉庫取得、ISO（9001、14001）認証取得など、お客様へ価値をお届けするための取組みを懸命に行ってきました。コロナ禍をはじめとした様々な環境変化の下にありながら、大変ありがたいことに、お客様より切れ目なく仕事の依頼をいただけています。

そういった中で、全社でベクトルをあわせ、今後も前進していくことを目的として今回、知的資産経営への取組みを始めました。

定期的にリーダー職のメンバーが集まり、商流分析や業務プロセス分析、沿革の整理、知的資産台帳の整理、経営環境分析などを行いました。当社の強みである「提案力」と「緊急時の対応力」が、どのようなメカニズムで生み出されているかを明確にすることができました。また、将来ビジョンに向けた取組みについて、ディスカッションも行いました。

そして、今回の取組みを自社の社員だけでなく、当社を取り巻く関係者の方々とも共有できるよう、レポートとしてまとめました。

お客様へお届けする価値を増大していけるよう、「品質の更なる向上」「新技術の活用」「人材強化」「組織体制の強化」に取り組んでまいります。

当社の新たなチャレンジを皆様に見て、感じていただけるよう誠実に取り組んでまいります。今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。

2022年11月

代表取締役 打保 陽



Ⅱ. 当社の紹介

(1) 経営理念

経営理念

お客様第一義に、物流における
絶対的な存在となり社会づくりに
貢献し、社員全員の夢・希望・幸福
の実現を達成する

ロジストの行動の基準・原点

商品・サービスづくりの原点
他社とは異なる付加価値の提供

顧客づくりの原点
誠意のある挨拶の徹底

人づくりの原点
会社全体で、切磋琢磨し教育できる環境づくり

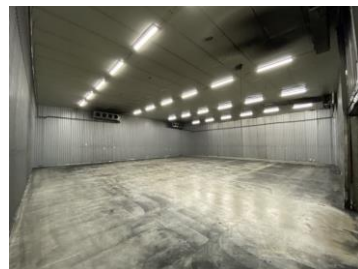
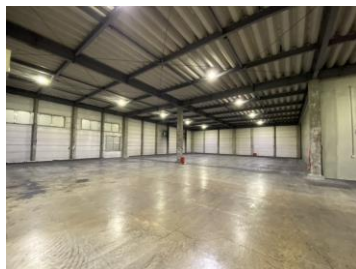
Ⅱ. 当社の紹介

(2) 事業概要

■ 倉庫事業

倉庫事業は、あらゆる業界のお客様の多種多様な貨物を必要な時に・必要な場所に・必要なだけ供給する物流戦略基地としてお客様を強力にサポートする役割です。

単に保管だけを目的としたものではなく、国内貨物は勿論のこと、輸出入貨物のコンテナ詰出・保管・簡易梱包・流通加工・ピッキング、さらに輸送事業と組み合わせることで一貫して品質を保ち、作業を行っております。様々な貨物の保管業務と運送機能によって、お客様の物流ニーズに幅広くお応え致します。



■ 港湾運送事業

海上輸送では一度に大量の品物を運びますが、その中の品物が目的地まで壊れたり傷ついたりしないようにするには熟練の経験と技術が必要です。

物流倉庫にてコンテナに出し入れ（VANNING・DEVANNING）する荷捌き作業がメインとなり当社ではその他にトラックへの貨物の積み込みや、積み下ろし、又は常温はもちろんのこと冷凍、冷蔵、定温倉庫など様々な品物を扱っております。

どんなに長い航海でも、どんなに船が揺れても、同じ形でお客様が受け取れるように。決して簡単ではありませんが、それは私たちの日々の目標であり、使命だと考えています。



Ⅱ. 当社の紹介

■ 3PL事業

3PL（サードパーティ・ロジスティクス）とは「荷主に対して物流改革を提案し、包括して物流業務を受託する業務」のことを表します。物流業務の配送、集品の一部だけではなく、すべてを一括受託し、また単なる請負ではなく、荷主様と倉庫運送会社という関係を超えて、専門性を活かしたロジスティクスの提案を行います。



■ 運送事業

運送事業で最も重視されるのは、「信頼」と「安全」です。弊社では高い輸送品質で安全・安心の運送を徹底して心がけております。多様な保有車両とあたたかみのある社員の対応で、安心・信頼できるサービスを提供しております。急なご依頼にも迅速に対応する「スピード感」と、大口輸送から小口輸送まで、荷物の量や内容に関係なく安全・確実にお届けする「サービス品質」「気遣い・心遣い」を大切に幅広いお客様のニーズに出来る限りお応えできるよう対応させていただきます。お客様に合った最適な提案もご用意いたします。



Ⅱ. 当社の紹介

(3) 沿革

年月	出来事	エピソード
2015年9月	兵庫県神戸市にて創業 兵庫県神戸市摩耶埠頭にて3 P L 事業開始	<ul style="list-style-type: none"> ✓創業当初は六畳一間の事務所 ✓わからないことが多い中でも、気持ちで仕事を前に推し進めていた日々
2015年12月	第一種貨物利用運送事業登録	<ul style="list-style-type: none"> ✓みんなでノウハウを共有しながらチームワークを育てていった
2018年12月	兵庫県神戸市深江浜に本社移転	<ul style="list-style-type: none"> ✓仕事に対する真摯な姿勢を取引先様が認めてくださった ✓仕事の規模の拡大に伴い、社内教育の重要性と難しさを実感した
2019年6月	グループ会社「株式会社ロジスト神戸」創業 一般貨物運送事業許可（株式会社ロジスト神戸）取得	<ul style="list-style-type: none"> ✓倉庫関連事業と運送関連事業の相乗効果を発揮できるようになった ✓より強い会社になるために、組織化に取り組んだ
2019年10月	兵庫県神戸市深江浜にて運送事業開始	<ul style="list-style-type: none"> ✓この時期の努力が2020年7月の本社倉庫取得につながった
2020年7月	兵庫県神戸市摩耶埠頭に倉庫取得、倉庫業開始（営業倉庫許可、保税蔵置場許可取得） 兵庫県神戸市摩耶埠頭に本社移転	<ul style="list-style-type: none"> ✓当社にとって、大きなターニングポイント ✓運送と保管を一気通貫で行えるようになった ✓本社倉庫取得が、更なる成長に向けて、大きな足掛かりとなった ✓港湾倉庫（保税蔵置場）の取得は設立当初からの目標だった ✓タイミングや様々な人との出会いにより本社移転と倉庫取得が実現した
2020年12月	港湾運送関連事業開始	<ul style="list-style-type: none"> ✓本社移転のため、設備整備や許認可取得、消防法対応など様々な課題に取り組んだ
2021年7月	ISO9001、ISO14001認証取得	<ul style="list-style-type: none"> ✓自分たちの仕事に対する考え方やルールを明文化でき、より安心して働けるようになった

Ⅲ. 知的資産

(1) 当社の知的資産

■ 「若さ」と「活気」

若いスタッフが多く、社内が活気あふれていることが当社の特長です。

「若い」ということは経験不足という側面もありますが、関係者の皆様からのご指導やフィードバックを真摯に受けとめ、各人が日々、研鑽に励んでいます。

皆様から「長く付き合っていける」という信頼感を得られるよう、業務に邁進してまいります。



■ 緊急時の対応力

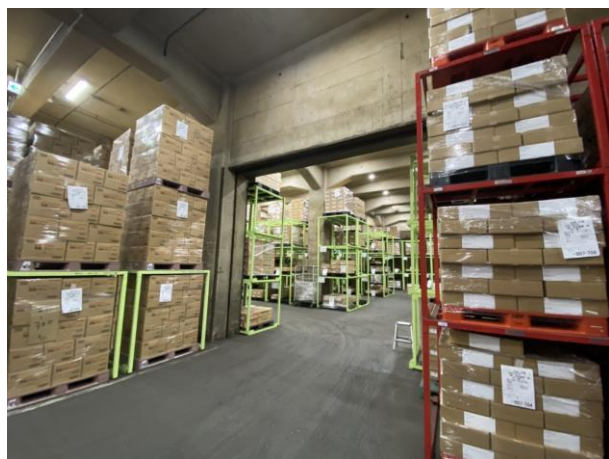
可能な限りお客様のご要望にお応えできるよう、努力を重ねています。

お客様の依頼には素早く対応し、物流における絶対的な存在となることを目指しています。



■ 保管と運送を一気通貫で行える体制

グループ会社「ロジスト神戸」では一般貨物運送事業許可を取得し、運送業務を行っています。ロジストグループで保管と運送を一気通貫で行える体制を整え、シームレスな物流ソリューションをお客様に提供しています。



■ カスタマイズ・オーダーメイドの提案

「お客様第一義」という信念のもと、お客様が何にお困りであるかということに着目しています。お客様の困りごとを解決するために、最適なラッシング方法や配送手段など、カスタマイズ・オーダーメイドの提案に取り組んでいます。



■ 他社では難しい仕事への挑戦

バラ貨物や付帯作業、複雑性の高い仕分けなど、同業他社では難しい仕事であっても、当社は積極的に挑戦しています。難易度の高い仕事はリスクも増えますが、事故を未然に防ぐため、みんなで話し合いながら、最善の方法を考えて取り組むことが当社の力量アップにつながると確信しています。



■ 急なスケジュールへの対応

お客様が行われているビジネスはリアルタイムに変化しています。その変化にあわせて、私たちの物流業務も対応が求められています。「やり切る」をテーマに若々しさを急なスケジュールへの対応をしています。また、応援メンバーが成果を出せるよう、仕事の標準化にも日頃から取り組んでおります。



Ⅲ. 知的資産

■ 時間の使い方・人員手配の工夫

物流の仕事は、日によって仕事量が異なるという特性があります。「空いた時間を無駄にしない」「手が空けば他の人の作業を手伝う」「1分1秒を無駄にしない」という意識を常に持っています。「お互いに応援しあう風土」が時間の使い方・人員手配の工夫につながっています。



■ 臨機応変

自分たちで仕組みやルールをつくり、仕事の品質を上げていくことは重要です。そうは言っても、日々、様々なイレギュラーな出来事が発生します。お客様の困りごとを解決するために、時には臨機応変な対応が求められます。当社では、フレキシブルな対応ができるようにしております。



Ⅲ. 知的資産

■ 予定表で先々まで管理

業務課のメンバーを中心に、独自の予定表を作成しています。先々の段取りを細かく記載し、ムリ・ムダ・ムラが発生しないようにしています。

この予定表のおかげで、効率的になり、現場スタッフの動きがスムーズになっています。



■ 基本的なことの徹底

良い仕事をするためには、基本的なことの徹底が必要であると考え、実践しています。具体的には、みだしなみ、挨拶、トイレのスリッパを揃える、報連相の徹底、ヘルメットや輪留めの使用徹底などです。当たり前のことばかりですが、徹底する事が他社との違いにつながります。



Ⅲ. 知的資産

■ 断らない

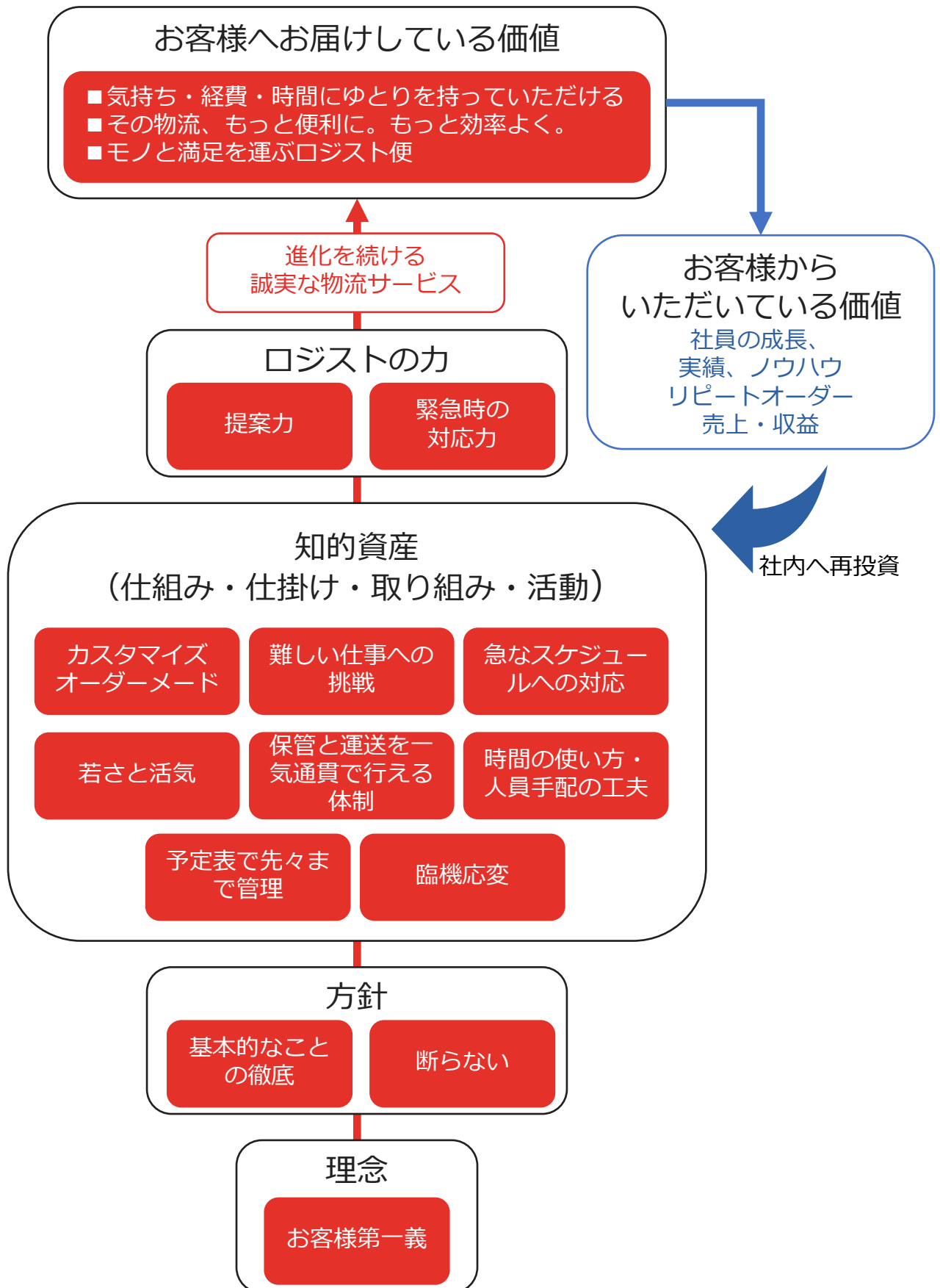
ご依頼は断らないということを大切にしています。お客様が何に困っておられるのかをよく聞き、よく考え、Win-Winの関係が築けるように提案を行うことを心掛けています。

「お客様第一義」の精神で、日々取り組んでいます。



Ⅲ. 知的資産

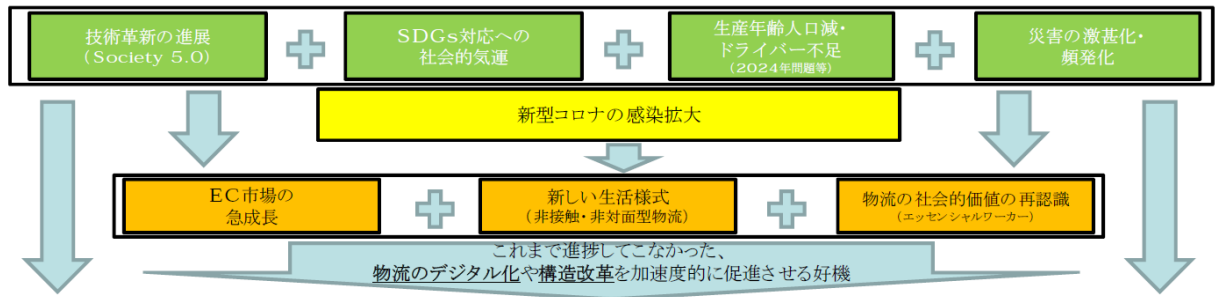
(2) 現在価値創造ストーリー



IV. 経営環境

物流を取り巻く環境の変化

～総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）より～



新型コロナ流行による社会の劇的な変化もあいまって、我が国の物流が直面する課題は先鋭化・鮮明化

①物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化（簡素で滑らかな物流）

- (1) 物流デジタル化の強力な推進
- (2) 労働力不足や非接触・非対面型の物流に資する自動化・機械化の取組の推進
- (3) 物流標準化の取組の加速
- (4) 物流・商流データ基盤等
- (5) 高度物流人材の育成・確保

②労働力不足対策と物流構造改革の推進（担い手にやさしい物流）

- (1) トラックドライバーの時間外労働の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備
- (2) 内航海運の安定的輸送の確保に向けた取組の推進
- (3) 労働生産性の改善に向けた革新的な取組の推進
- (4) 農林水産物・食品等の流通合理化
- (5) 過疎地域におけるラストワンマイル配送の持続可能性の確保
- (6) 新たな労働力の確保に向けた対策
- (7) 物流に関する広報の強化

③強靱で持続可能な物流ネットワークの構築（強くてしなやかな物流）

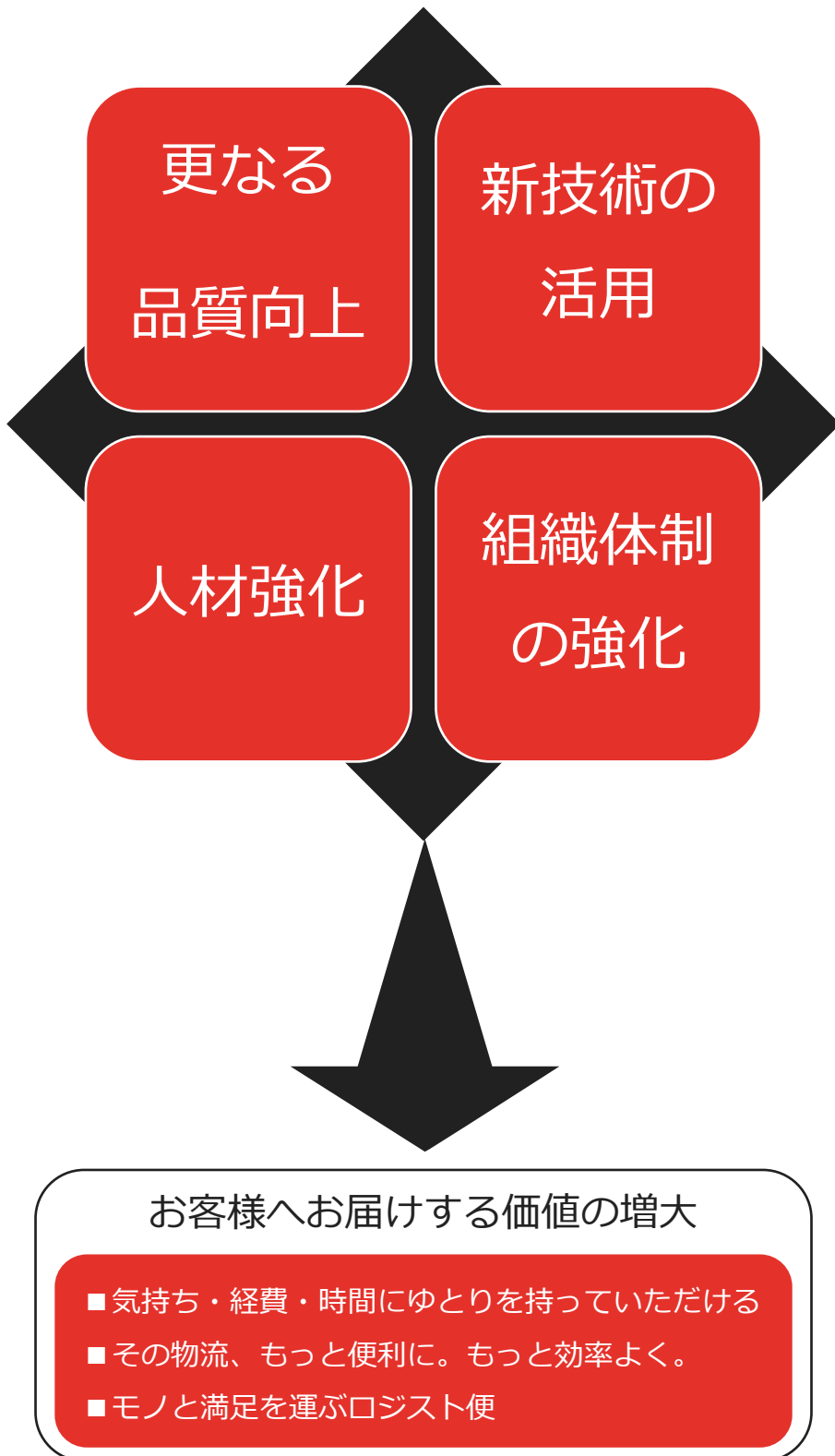
- (1) 感染症や大規模災害等有事においても機能する、強靱で持続可能な物流ネットワークの構築
- (2) 我が国産業の国際競争力や持続可能な成長に資する物流ネットワークの構築
- (3) 地球環境の持続可能性を確保するための物流ネットワークの構築（カーボンニュートラルの実現等）

出典：国土交通省「総合物流施策大綱（2021年度～2025年度）」

https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_000179.html

V. 将来ビジョン

(1) 将来へ向けた取り組み
～今後も選ばれ続ける会社であるために～



(2) 具体的な取り組み内容

■ 更なる品質向上

- ✓持っている強み（断らない対応力や煩雑な作業が伴う業務）の強化
- ✓基本的なことの徹底を継続
- ✓事故ゼロの継続を目指す
- ✓接客技術の向上
- ✓安全会議の開催
- ✓無駄を極力排除した配送計画の作成
- ✓倉庫業と輸送をより一体化し、あらゆるニーズに対応できる仕組み作り
- ✓協力会社の拡大（配送エリアや対応車種の幅を広げる）
- ✓取り扱い可能な貨物の種類を増やす
- ✓5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底
- ✓今後、拡大して人数が増えても同じ品質を堅持する
- ✓写真等を活用した分かりやすい作業説明資料の作成

■ 新技術の活用

- ✓新技術についての情報収集・動向調査（インターネットや業界団体からの情報取得など）
- ✓国の物流DXの方針を把握し、新技術導入の検討を行う
- ✓既に導入済みのシステム・機器の特性把握と有効活用
- ✓システム・機器の基本的な操作方法のマニュアル化
- ✓業務における電子化・ペーパーレス化の推進
- ✓労務管理・帳簿管理のデジタル化
- ✓倉庫業務の更なるデジタル化・システム化
- ✓運送業務のデジタル化・システム化
- ✓物流業界における新技術取組み事例の研究
- ✓無人化・省人化につながる機器の導入

V. 将来ビジョン

■ 人材強化

- ✓管理者による定期的な社員面談の実施（朝礼、昼礼、始業点呼、終業点呼などの有効活用）
- ✓勉強会や研修会に参加し、レベルアップを図る（保税蔵置場に関する知識、安全運転、車両整備、設備整備など）
- ✓やりがいを持てるよう、仕事を任せ、実践教育を行う
- ✓新卒採用による次世代を担う人材の確保
- ✓社員からの紹介を含めた人材採用の促進
- ✓【輸送】定期的に追走指導を実施
- ✓【倉庫】安全パトロールと安全指導を実施（不安全行動ゼロ）
- ✓コアタイムの分析を行い、時間の有効活用ができる勤務シフトの検討
- ✓人事制度のブラッシュアップ（育成計画・研修制度・評価制度など）
- ✓自主性・自発性を養う
- ✓フォークリフト練習会の実施
- ✓報連相の徹底による、情報や事例の共有

■ 組織体制の強化

- ✓それぞれの部門での目標設定、目標到達度を各部門で把握し部署間でフォローしあう
- ✓2024年問題（トラックドライバーの時間外労働の上限規制）への対応
- ✓ジョブローテーションなど、多能工化・業務の複線化につながる取組みの検討
- ✓時代の変化の予測・予想と変化への準備
- ✓時代の変化にあわせて、実務のあり方を都度、振り返り、改善していく
- ✓ホームページの更新による情報発信
- ✓OJTなどにより技術・ノウハウの継承を図る
- ✓スキルマップの作成
- ✓BCP（災害防止・緊急事態）への対応
- ✓防災訓練の実施
- ✓定期的なBCPの効果測定
- ✓BCP対応マニュアルの作成

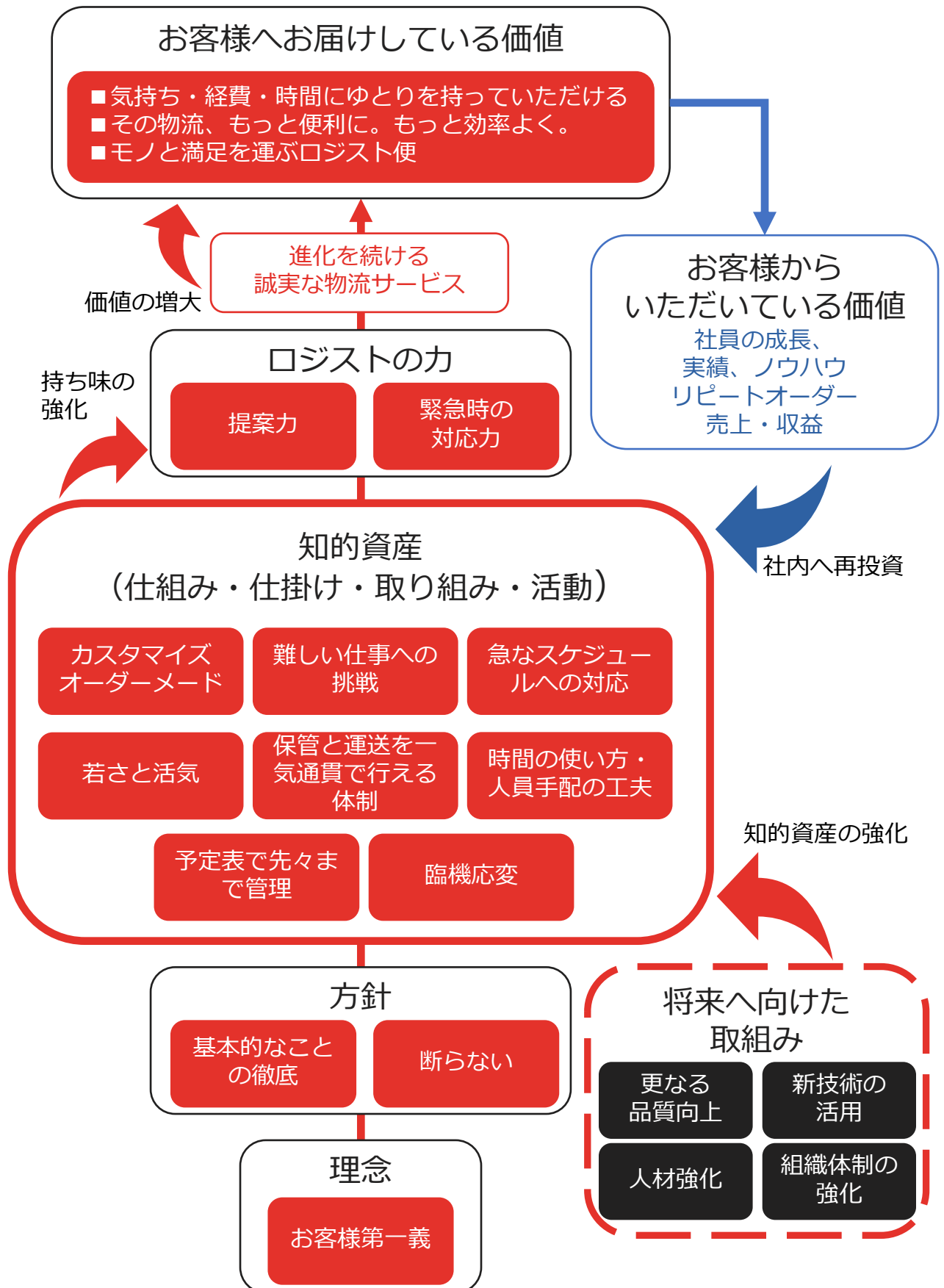
V. 将来ビジョン

(3) アクションプラン

目的	取り組み	指標	目標値
更なる品質向上	安全会議の開催	実施回数	1回/月
新技術の活用	労務管理・帳簿管理のデジタル化	期限	2023年
人材強化	目標カードの運用	実施回数	2回/年
	【輸送】 定期的に追走指導を実施	実施回数	2回/月
	【倉庫】 安全パトロールと安全指導を実施	実施回数	2回/週
組織体制の強化	ホームページの更新による情報発信	実施回数	2回/月
	防災訓練の実施	実施回数	2回/年
	定期的なBCPの効果測定	実施回数	1回/年

V. 将来ビジョン

(4) 将来価値創造ストーリー



VI. 企業概要

(1) 企業概要

会社名 株式会社ロジスト

代表取締役 打保 陽

設立 2015年9月

資本金 1,000万円

本社所在地 〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭2-3
TEL:078-871-7362 FAX:078-871-7363
E-mail: info@logist-a.com

事業所
「摩耶第2倉庫」
〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭
(株式会社住友倉庫 神戸支店摩耶倉庫内)
「摩耶事業所」
〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭2-4
「小野浜事業所」
〒651-0082 神戸市中央区小野浜町8番48号

事業内容
倉庫業
港湾運送関連事業
3PL事業
第1種貨物利用運送事業(株式会社ロジスト)
一般貨物自動車運送事業(株式会社ロジスト神戸)
労働者派遣事業 派-28-301939(株式会社ロジスト神戸)

許認可
倉庫業
保税蔵置場
第1種貨物利用運送事業(株式会社ロジスト)
一般貨物自動車運送事業(株式会社ロジスト神戸)
医薬部外品製造業
医療機器製造業
化粧品製造業
化粧品製造販売業
毒劇物一般販売業
産業廃棄物収集運搬業

VI. 企業概要

(2) 知的資産経営報告書について

【知的資産経営報告書とは】

「知的資産」とは、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、クライアントとのネットワークなど財務諸表には表れてこない、目には見えにくい経営資源を意味します。「知的資産経営報告書」とは、見えにくい経営資源、即ち非財務情報を、債権者、株主、クライアント、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）の形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。平成17年10月に経済産業省から「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠しています。

【知的資産経営報告書の掲載内容について】

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。そのため、将来にわたり当社の取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生ずることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性もあります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことをご了承願います。

【知的資産経営報告書のお問い合わせ先】

株式会社ロジスト 総務部

〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭2-3

TEL:078-871-7362 FAX:078-871-7363

E-mail: info@logist-a.com





<https://logist-a.com/>